

専門家の支援を受けて
自店の強みを明確にし、
業績回復



Color&KIDS Mary

カラーアンドキッズ マリー

末広通り商店街（江東区）

活用した事業 商店主スキルアップ事業

70年以上続く老舗美容室 2018年、創業以来の危機に直面する

下町情緒漂う江東区東砂・末広通り商店街にあるColor&KIDS Maryは1950年創業の老舗美容室。戦後の貧しい時代に「女性も手に職をつけるべき」と考えた美容師・山下静枝さんが「マリー美容室」を立ち上げ、その後小さな薬局も併設し地域の方々の美と健康をサポートしてきた。二代目山下信義さんが後を継いでからは、薬局の規模を大きくし、家族やスタッフ皆で盛り上げてきた。しかし、2018年に最大の危機が訪れる。美容室の店長兼美容師が店を辞め独立。その直後、信義さんが急逝したのだ。2020年には追い討ちをかけるようにコロナ禍へと突入し、業績は日に日に悪化していった。

専門家ならではの的確な分析で 集客が上向きに。土日は満席

この状況を打破するべく、後継者となったのが信義さんの長男、現代表取締役の山下善照さんだ。「店をなんとかして守りたい。とはいえ、どうすれば業績が上向くのか、試行錯誤が続きました」そんな中、善照さんが利用したのが公社の商店主スキルアップ事業だった。

担当となった専門家からは、「マリーの特徴を全面に打ち出すこと、顧客ターゲットを見直すことが必須」とアドバイスを受けた。

「マリー美容室の強みは、カラーリングの技術。そしてキッズにも対応していること。この2点にフォーカスして、店名を“Color&KIDS Mary”にしました」

さらに商圈分析を行い、顧客ターゲットを再設定した。「周辺地域にはファミリー層の人口が増えつつあることがわかったので、WebでのPRを行うことにしました」

Web版クーポンマガジンでの宣伝を導入した結果、土日は予約が埋まるほど稼働率が向上し、経営状況は持ち直しつつある。



『Color&KIDS Mary』オーナーの山下善照さん

今後は"デジタル"を駆使して 商店街全体を活性化していきたい

平日、善照さんは大手製薬会社に勤務しながら、家業を支えている。さらに、信義さんの意志を継いで商店街の活性化にも一役買っているというから、そのバイタリティには驚くばかり。「今後はデジタルサイネージを駆使して商店街をさらに進化させていきたい」と語る姿には自信がみなぎる。「公社のサービスを受けて本当によかったです。専門的な見地からの多角的なアドバイスに加えて、必要な情報を的確にリサーチしてくれました。結果として、経営状況が好転。さらに次の目標も明確になりました。今があるのは家族と従業員、地域のご支援、そして公社のサポートのおかげです」と語った。



01

Color&KIDS Mary

江東区東砂4-15-10 TEL.03-3644-7744

<https://www.mary-pharm.com/salon/index.html>

